

現状と課題

帰国・外国人児童生徒の増加と多様化（小中高:H25.5月192人→R6.5月373人）
→日本語指導を必要とする児童生徒が、散在して在籍（令和6年5月で16市町）



個々に応じた日本語指導の充実と
地域の実態に応じた支援体制の構築による
きめ細やかなトータルサポートが必要



日本語指導の充実

学校からの要請に応じ日本語支援員を派遣

市町村
教育委員会

連携

県教育委員会



国費事業活用



補助事業(2/3)



日本語支援員
派遣

日本語支援員
派遣要請

個別の支援計画に基づく日本語指導

<効果>

安定した事業継続で手厚い支援が可能

児童生徒の実態に応じた日本語指導実施が可能

地方創生
にも



支援体制の充実

運営委員会

支援方針・支援策の検討

日本語支援員の安定的確保
(国際交流協会、民間団体、大学と連携)

連絡協議会

市町村教育委員会、教員との情報交換

指導者研修会

- ①教員研修(特別研修)
- ②日本語支援員研修(委託研修)

指導力(適応指導・日本語指導)の向上

日本語教育トータルサポートセンター

センターが学校や市町村教育委員会
からの支援に関する各種相談に対応

情報提供の充実

ホームページ公開「外国にルーツを持つ
子どもの受け入れ手引」

○受入れ学校・教員に向けて
やさしい日本語で、学校行事や保健に
関する文書通知例を掲載

○保護者に向けて

日本の教育制度や学校生活等について
必要な知識をわかりやすく掲載
※中国語・フィリピン語でも掲載

○共生・共同社会への啓発

ルーツとなる国の教育事情について掲載

<関連イベントの周知>

地域の国際交流協会や民間団体の行う外国人
児童生徒の支援に関する情報を学校や保護者
に周知

帰国・外国人児童生徒の経済的・社会的自立の促進・国際理解教育の進展

文化的背景を異にする人々が共生・協働する徳島の実現

担当:義務教育課